

17. 宇部市地域公共交通再編実施計画

- 利用者の多い区間を「主要幹線」とし、系統の整理統合と等間隔運行の実現で利便性を向上
- 大小2つの市街地循環線につき、ルート・運行回数の見直し

【主な事業内容】

◆「主要幹線」の設定による利便性向上

- ・利用者の多い区間を「主要幹線」に設定し、**系統の整理・統合**を行って全体をスリム化
- ・ニーズに応じた運行頻度に見直すとともに、**運行時間を等間隔化**



(対象) 西部: 3路線、中央部: 2路線、東部: 2路線

【効果】

- ・19系統の削減(97→78)
- ・年間走行キロが15.9万km削減。
- ⇒運行経費**4500万円削減**、収支率**4.1%改善**
- ・高頻度かつ等間隔の運行を実現することで、**利便性を確保・向上**

◆市街地循環線の見直し

【小循環線】
(中心市街地～宇部新川駅)
実験結果を踏まえたルート見直しと運行回数増により利便性を向上

- ・1日6回 (時計回り・反時計回り)
- ・130～320円 ※対距離制
- 新ルートで廃止する部分
- 新ルートで新設する部分



【大循環線】
(宇部新川駅～空港・大学等)
小循環線との役割分担を見直し、アクセスの利便性を向上

- ・1日10回
- ・130～620円 ※対距離制
- 新ルートで廃止する部分
- 新ルートで新設する部分



【効果】

- ・市民、訪問者それぞれのニーズが高い施設へのアクセスが向上
- ・2つの循環線で年間**200万円**の増収を見込む

宇部市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 『宇部市地域公共交通網形成計画』(現：地域公共交通計画)に示された基本的方針に基づき、地域公共交通の再編を実施していくため、『宇部市地域公共交通再編実施計画』(現：利便増進実施計画)を平成29年10月に策定。
- 令和3年10月より、下関線、西宇部・原地区コミュニティタクシー、中央病院線・萩原線の変更を実施。

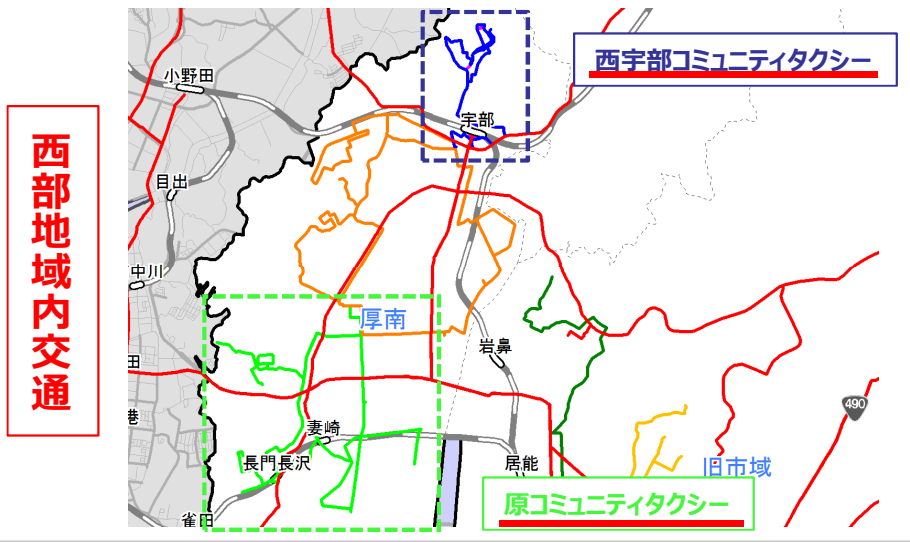
事業の内容

- (西部の再編)
- ①【西部主要幹線【W3】・下関線】系統廃止及び減便の実施
 - ②【西宇部地区コミュニティタクシー】運行日・運行曜日の変更
 - ③【原地区コミュニティタクシー】運行ルート・運行曜日の変更
- (東部の再編)
- ①【東部主要幹線【E2】・中央病院線】運行便数の変更
 - ②【東部主要幹線【E2】・萩原線】運行便数の変更



事業の内容

- ・継続的な移動手段の確保(下関線)
- ・利用者のニーズに応じた運行の効率化及び利便性の向上 (西宇部、原)
- ・商業施設へのアクセス強化 (中央病院線、萩原線)



西宇部コミュニティタクシー



宇部興産中央病院内 東部乗継拠点



宇部ラーメン



「蟻の城」(ときわ公園 UBEビエンナーレ)

西部地域内交通

- ・作成自治体 山口県宇部市
- ・事業実施区域 宇部市
- ・事業実施予定期間 H29年10月～R4年3月